

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習漢字の読み書き、および中学校学習漢字の読みの力を定着させること。 ・自分の考えを、さらに深く思考していこうとする態度を育てること。 ・互いの思考を広げ深めていくような話し合い・意見交換をしようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に漢字テストを行い、漢字練習の習慣化を図る。 ・教科書を読む際に新出漢字の読みの確認を行い、文章の中の既習漢字に読み慣れていく。 ・授業の中で日常的にペアワークやグループワークを取り入れ、自分の考えを表現し、他者の考えを深めるような質問をしようとする意欲を喚起する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力を定着させる。知識を詰め込むだけでなく、資料を活用し、社会的な事象を捉え、理解する活動を増やす。 ・積極的に取り組む生徒と、学習に取り組むことのできない生徒と、学力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートなどを活用して、自分で調べ、考察する場面を多くする。 ・資料を基に社会事象を捉える学習を進めていく。 ・ワークによる復習や小テストを活用する。 ・机間指導を行い、生徒を援助する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎計算にまだ不安な生徒が少なからずいる。 ・文章題を苦手とする生徒が多く、読み取る力や文字式に表す力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に基礎計算の復習を行う時間を設定する。新しい内容を扱う前に復習的な内容の確認を行い、既習事項の定着を図る。 ・数学的な文章の読み方を定着させるために、類題を用いたり、文章を分解したりして読解力を高めていくようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の結果や、その結果をグラフや表から、自然の事物・現象をより正確に分析・解釈し、考察、表現する力を高めることが課題である。 ・科学的な原理や仕組みを理解し、そこから理論的に考え、判断する力の向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・I C Tを用いて基礎的・基本的な知識の理解を図った上で、観察・実験の結果の処理について取り組ませる。その結果から分かることを考えてまとめ、自分の言葉で表現することにより、自然現象について理解させる。 ・話合い活動や教え合う活動を通して、問題解決等の課題に取り組ませる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や創作、器楽の活動に、積極的に取り組んでいる。 ・実技において、表現することに恥ずかしさや難しさを感じている。 ・音楽を形作っている要素とそれらの働きを表す用語や記号についての理解を深めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動においては、表現したいイメージをもたせ、音素材の特徴を生かし、音楽を作るようにする。 ・お互いに発表し合う時間を増やし、表現することを楽しむ。教え合う時間も作る。 ・音楽用語等については、プリント等を使用して少しづつ理解させる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な生徒を中心に、授業では積極的なコミュニケーションが多くある。 ・個人の作品づくりなど、粘り強さや学びを深める場面で課題が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の計画と目標を取り組みやすい形で提示し、主体的に学習する態度を養っていく。 ・言語活動を充実していくことで、発想や構想を豊かにしたり、学びを深めたりできるようにする。

保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・保健ではＩＣＴを活用しているが、体育の方の利用も増やしていく。 ・簡単なゲームや試合を積極的に取り組めている。活動の振り返りの際の分析や効率の良い動きの課題解決に向けた思考・判断に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを用いて動きの確認やペアで練習方法を見つける取組みの時間を増やす。 ・ペアやグループでの話し合い活動や、協力して行えるグループワークを多く取り入れ、教え合うことや、練習方法を見つけ出す場面を提供する。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・製作学習に意欲的である。取り組みが進んでいる生徒には完成度を高める学習課題、遅れている生徒には個別指導の必要がある。 ・ものづくりの学習を通して、学習内容、技能を高める指導をする。(技術) ・作業を通じた基本的技能の習得は全体的によくできている。 ・自らの製作過程と製作手順書を照らし合わせることができず、見通しを立てて取り組むことが難しい。(家庭) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品の製作状況に応じた適切なアドバイスと机間指導することで作品の完成度を高める学習指導をする。 ・電子黒板を活用したわかりやすい説明・動画・書画カメラを使って学習指導の改善をする。(技術) ・製作手順や縫い方など全体の指導では理解できない生徒には、タブレットを活用して縫い方の確認ができるようとする。 ・レポートの作成等、実際に行った作業を振り返らせることで、知識や作業工程の定着を図る。(家庭)
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を導入するアクティビティには積極的に取り組んでいる。 ・「生徒同士の対話」では、基礎的な表現を用いることはできるが、文の正確性や発展的な表現、内容の幅に大きな個人差がある。 ・「書く・読む」へのつながりでつまずく傾向が見られ、基礎的な知識の習得が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発話を促すため、音読やペアワークを継続してくり返し行う。 ・自分のことを英語で表現する活動を充実させ、学習への意欲を引き出す。また、学力向上支援講師(T2)との協働での個別指導により、ペア活動・グループ活動を支援する。 ・ノートやワークシートを使って英文を書くことに慣れさせ、基礎知識の定着を図る。